

標 題 雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」の検査が始まりました！

(ダイジェスト)

雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」検査買入れ式が9月30日にJAしまね雲南地区本部大東農業倉庫にて開催されました。当日は1,976袋が検査を受けて、そのうち独自の基準であるたたら焔米としての認定を受けたのは785袋、認定率は39.7%でした。

9月30日、JAしまね雲南地区本部大東農業倉庫にて、JAしまね雲南地区本部主催により、雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」検査買入れ式が開催されました。

検査に先立ち主催者であるJAしまね雲南地区本部長、また雲南市長、東部農林振興センター雲南事務所農業普及部長、および雲南市水田農業担い手協議会会長さらにプレミアムつや姫「たたら焔米」を販売している(有)藤本米穀社長から挨拶がありました。

雲南市ブランド米「プレミアムつや姫たたら焔米」は、まず一般的な農産物検査(水分、粒の大きさ、見た目など)で等級が決められます。この基準で1等級に選ばれたものであり、かつ食感と味に影響する「タンパク値」の独自に基準を設け、この基準を満たしたものだけを認定を受けます。

認定検査ではタンパク値の基準をクリアする様子を見て市長は「ホッとした。」と言。また、藤本社長は認定を受けた米を見て「粒がしっかりしていて、割れない。あとはこの良さを消費者に届けられるか。」と販売への意気込みを新たにしていました。

令和元年度の雲南市のつや姫の作付面積は約80haでした。また、当日は2,082袋の持込みがあり、そのうち1,976袋が検査を受けました。そのうち認定を受けたのは785袋、認定率は39.7%でした。

普及部では、今後も「プレミアムつや姫たたら焔米」の認定率の更なる向上を目指し、プレミアムつや姫の高品質・安定生産に向けた支援をしていきます。



↑認定を受けた米袋に認定シールを貼付する雲南市長



↑検査の様子